

婦人会だより

< 9月19日(日) 34名出席 >

1. 始めの祈り、病気の会員のための祈り (ロザリオ一連、病者のための祈り)
2. 委員会報告
3. 第五地区福音宣教委員会報告
4. バザー委員会報告



- バザー券、食券を9月19日から販売します。
5. バザー関連事項
 - ① 自主作品の提出・・・9月30日までに、直接役員に手渡ししてください。(遅くとも10月10日までにはお願いします。)
 - ② 新品雑貨、不用衣料品・・・9月30日までに提出してください。
 - ③ 紅茶、砂糖のご寄付をお願いします。
 - ④ バザー当日の仕事分担当表を貼り出します。ご記入下さい。
 - ⑤ 値段つけの作業を以下の日程で行ないます。

- 10月14日(木)午後1時から・・・手芸品、自主作品
10月21日(木)午前10時から・・・雑貨、不用衣料品
(午後もお手伝いできる方は、お弁当をご持参ください)
- ⑥ マドレーヌ作り
10月18日(月)試し焼き 午前9時～12時45分
10月28日(木)本番 午後1時～4時45分
 - ⑦ バザー前日(10/30)の準備作業 pm1時から(4時からミサ)

6. 話し合い
- ① 教会建物修繕資金について
「教会建物修繕資金献金のお願い(案)」に関連して、いろいろ意見は出ましたが、この案で了承しました。また、婦人会会計には現在少し余裕があるので、修繕資金献金として50万円(一般会計から30万円、特別会計から20万円)を拠出することになりました。

- ② 来年度の役員について
現時点で来年の役員を引き受けてくださっているのは3名しかありません。グループ制にして役員の負担は軽くなってきたようですが、一部の人だけが動くのではなく、これからは全員が協働していかなければなりません。一人ひとり何かしら出来るはずですが、いろいろなこと学ばなければならないのでは、などの意見が出されました。次回例会でも話し合っていきたいと思います。

7. お知らせ
- ① 会員転居
大原幸恵さん 〒245-0018 泉区上飯田町4169-11
電話 045(302)5523
- ② 「横浜いのちの電話」チャリティーコンサート
* 「タンゴ ポルテニョス ヨコハマ」の演奏
* 日時:10月22日(金)18:30 開演
* 会場: 関内ホール
* チケット 3000円(当日券3500円)
* 申込み: 役員
- ③ 講演会
* 「ペトロ岐部カスイの生涯」—それでも私は司祭になりたい—
* 講師: 五野井 隆史氏 * 会場: 逗子教会聖堂

ミサ当番表 (2004年10、11月)

月/日	第一朗読者	第二朗読者	共同祈願	奉納	オルガン	侍者	先唱者	準備係
10/10	青年会	青年会	青年会	青年会	岩 渕	石井(薬)・石井(大)	小野寺	下村・丸田
10/17	大 宮	上野(明)	岩崎(好)	大 宮・宮崎(七)	森 田	石井(祐)	東 原	松下・松尾
10/24	上 野	松 田	上 野	上 野・松尾(シ)	保 科	美底(さ)・森脇(る)	福 島	大原・青柳
10/31	清 水	小 野	阿部(映)	清 水・松尾(秀)	岩 渕	美底(か)・森脇(ま)	萩 原	井上・大宮
11/7	宮 崎	永 田	宮 崎	宮 崎・内 藤	森 田	下迫(瑞)	大 宮	中谷・青柳
11/14	青年会	青年会	青年会	青年会	保 科	下迫(桂)・永田	富 田	下村・丸田
11/21	森 田	町 田	小山(恭)	森 田・清 水	岩 渕	石崎・内田	清 水	松下・松尾
11/28	森脇(信)	山本(照)	森脇(信)	森脇(信)・七 浦	森 田	美底(か)・石井(ま)	竹 内	大原・青柳

* 日時:10月10日(日) 13:30～15:00
【次回例会は10月17日(日) 聖堂清掃の用具および例会のお茶の準備当番はC地区】

壮年会だより

< 9月19日(日) 11名出席 >

1. 委員会報告: 詳細略
2. 松下俊夫氏ご入院に対するお見舞呈の報告
3. バザー準備状況:
* バザー券、食券は9/11に印刷など準備完了
* 「やきとり」の材料価格高騰への対応: 予定通りの数量・価格で販売すること決定。(予備数量等減らす)
* 当日の各売り場のチーフ担当は次の通り
◆「やきとり」: 上野さん
◆「やきそば」: 下村さん
◆「やきいか」: 宮崎さん
◆「飲み物」: 萩原さん
* 「青空市」の進め方: 現在単行本が70冊程度集まっているが、更に呼びかけて計画通り実施する。
4. 8/29 臨時信徒総会で承認された「運営基準見直し」に連動したヨゼフ会(壮年会)会則の改定:
* まず、たたき台を策定して、例会にて揉むこととする。
5. 「教会建物修繕資金献金」の件:
* 委員会(案)をベースに審議したが、概ね案通りに進めることが了承された。とくに特別献金の目標額が100万円であることを強く訴え、また目標に対する進捗を信徒が見える仕組みを構築していくことが提案された。
6. 10-12月の当番表:
* 各分担・当番を決めた。別途掲示する。
7. 「黙想会」に関するご提案:
* ご検討をお願いしている山田さんのご提案で、来年1月以降に実施する予定。
8. 布教関係:
* 竹内さんより資料配布頂き、
◆ 第13回湘南短期キリスト教セミナー
◆ 一粒会
◆ 共同宣教司牧
の報告、お話を頂いた。とくに共同宣教司牧について、竹内さんより、『中和田教会として「共同宣教司牧」についての意識の高揚を図るための、話し合いの場とか機会を設けたいのでその方法を考えたい。壮年会で話題になった(広報8月号)神父様を囲んで気楽な茶話会、毎週の勉強会の活用、新提案の黙想会の拡大発展など、信徒会全体として取組みたい。』とのお話があった。
9. その他、自由発言:
* 小谷さんより、「中学生・高校生に対してクリスマスカードを送りたい」というご提案があった。



広報 なかわだ

第305号

2004年10月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>
平成16年10月10日

10月の予定

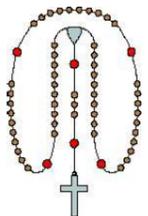
委員会	10月 3日
壮年会、婦人会	10月 17日
バザー	10月31日
サロン	10月10, 24日
レジオ	10月 8, 15, 22日

アッシジの聖フランシスコ



誇りを持って、宣言する教会の信仰

主任司祭 ジャック・グルニエ



教会暦(典礼暦)とは、いのちの与え主への信頼を、さまざまな視角から見事に物語ってくれる宝物です。確かに、今のわたしたちの信仰の心は、多くの人々からの証を受けながら、「永遠」をますます思うようになったのではないと言えます。教会は、どれほどたくさんの人々が神に愛されて、その人々が神の友として歩んできたということを知った故、信頼の伝統を築き続けていく存在です。

今月、教会暦は、次々と何人かの「聖人」の信仰生活を記憶に新しくさせて、わたしたちの信仰の心をより豊かにさせてくれるでしょう。幼きイエスのテレジア(1日)、アッシジのフランシスコ(4日)、イエスのテレジア(15日)、福音記者ルカ(18日)、そして使徒シモンとユダ(28日)。そしてロザリオの聖母の記念日(7日)も信仰の心を一層強めてくれます。しかも、神さまの働きかけが、一人残らずすべての人々に及ぶと伝えてくれる守護天使の記念日(2日)も目立ちます。

「神がわたしたちを愛してくださいました!」。キリストのうちに、大勢の人々と共に、神さまご自身に生かされてよかったと信仰を告白します。それは順境であっても、また逆境であっても。なぜなら、親しくなった聖人の信仰すべてはわたしたち自身の信仰に加わるからです。

よかった

いのち めをあけてごらん	やまいのことから のびもれる うめき
みえるのは どこまでも くらいそら	きかないほうが よかった?
やけのこったみちで ひとりねむるこども	でも それでも いってほしいことばがある
とらわれて かおをおおう ろうじん	おそれと こどくの ただなかへ
みないほうが よかった?	まるはだかで ほうりだされた わたしたち
でも それでも いってほしいことばがある	いまは いのることばも みつからない
みみをすませてごらん	それでも いってほしい ひとこといい
きこえるのは とおい ばくげきのおと	おまえは いのちなだから なおもほほえんで
ののしりあらそう ふたりのこえ	「うまれてきて よかった」と

(晴佐久昌英神父、『だいじょうぶだよ』より)



祈りのうちに

福島 久子

朝一番、5時出勤の夫が4時に起き、朝食の支度をしています。パンを焼き、ミルクを温め、手作りヨーグルトをカップに移し、ハチミツ、キナコ、リンゴの皮をむき！これは1ヶ月前までは私の仕事でした。今朝の私は、布団の中から黙って見ているだけ。「食べるときは温めてね」「では行って来ます」。

退院の時の注意事項として、執刀医だった循環外科医の説明で「2週間は家事一切やらせてはいけません。家の方が協力して家事はやらせないで下さい。」「血液を固まらせないワーファリンと言う薬を飲みますから、効力がなくなるため納豆は決して食べてはいけません」。

5人体制のローテーションで勤務している夫は（勤務が早出5時～5時半、昼出12時、遅出13時～14時15分）、早出一番5時出勤はただでさえ忙しく落ち着かない朝なのです、"忘れ物は？気をつけてね"これも布団の中から。遅出最終便は11時帰宅。それから遅い食事とお風呂。何をしなくても2週間は経ってしまうが、やらなくてはならない事も結構ある。洗濯、お風呂の掃除。健康なときは何の苦も無く終わらせている事が疲れている時はどっちも大変です。休みの日はもう寝だめすること。用意してくれたミルクを温めようとしたレンジの扉も、覗こうとした冷蔵庫の扉も、襖の引き戸も、何をやろうとしても胸に響いて、力が入らなくて、こんなはずではと我ながら驚き、悲しくなりました。

帰宅して二週間。少しずつ体力が回復し、外出も家の周りから、スーパーでの買い物も、パン一斤から、長ねぎ一束とかリハビリのつもりで歩く距離も伸ばして行きました。夫が居たおかげで、医師に言われた通り何もせずに過ごさせてもらえましたが、同じ病室には一人生活の方が何人かいらして、「家事を2週間してはいけない」と言われても自分でやるしかないのにと、嘆いていられたことを思い浮かべると、"福島さんはいいわね"とうらやましがられた事が、「私は幸せ、神に感謝、夫に感謝」。

健康なとき、家事、特に料理と一緒に作ってあげれば良かった。洗濯、お風呂は誰にでも出来るけれど、料理は、特に時間に制限があるときは、いつもやってあげれば、家のものが寝付いたときなど、負担を感じなくてすむ。「今はコンビニへ行けば何でも揃いますけれど！」。コンビニの料理は何も食べさせてもらわなかったですね。

家の中のこと全て？、日頃特に年を重ねるようになったら、一緒にやっている方が自分の為にもなる。若い時の夫は、自分の出来ることは黙っていても、頼まなくてもどんどんやってくれていたのが、この頃は、頼んでも手が動きだすまでに時間が掛かると、自分で覚えていけば良かったなーと思うことが多々ある。

現在6ヶ月の心肺リハビリ期間を過ぎて、少しは元に戻ったかなと安心して動きすぎると、早速朝起きたときに切り口の周囲が時にズキズキ、いつもシクシク手術をしたのを思い出させて呉れている。

まばゆい光の中で目を開いた私は、あまりの明るさにここはどこ？これから手術？と思ってしまった。病室を出て手術室まで来たのは覚えていたが、「もう終わりましたよ」聞きなれたナースの声に「ワァー本当？」息を呑んで、「生かされた・・神に感謝」生かされたんです。手術は100%成功することは無いと、同意書を書かされたときに言われて、「なんとしても生かされたい」と祈っていたので！気がついたのは集中治療室で、手術をしてから一晩を過ごした翌朝でした。

心房中核欠損症と言うのが、私が手術を受けることになった病名です。誰もが中核に穴が開いた状態で誕生、酸素を取り込んだときに、自然と閉じるのが正常。成長過程で早く欠陥が見つかる人と、私のように何も自覚症状が無くして成人になってしまう人がいる心臓疾患の中で、数的には相当多いとの事です。途中で何らかの障害（不整脈も含めて）が出ると、手術と言うことになるようです。私の場合、勤務先の定期検診で不整脈が見つかり、治療も特別何も指示が無いので放っておいた。膝が悪くなり、リハビリに行ったスポーツセンターの定期検診エコーで、心臓に穴が開いているから出来るだけ早く手術をした方が良く指示を受けながら、息苦しさとか、チアノーゼとか自覚症状が無く、特にプール内の歩きとか、スポーツをやっている時には苦しむことは無かったが、去年の夏に、また定期検診を受けた際、去年より穴が大きくなっているから、もう手術を考えたほうがと強く言われ、団地内の主治医に相談したところ、「手術はともかく、精密検査を受けてみなさい。その先は先生の指示に従って」と早速その場で紹介状を書いて下さった。

早速紹介状先の榊原記念病院に出向き、その日から検査が始まった。それが8月、9月にはカテーテル検査、審議にかけた結果（反対した先生が2～3人いらしたので）矢張り手術と言う事に決まり、年末から延ばし延ばし今年の1月27日入院、2月2日手術とバタバタ決まってしまった。

「お祈りしていますからね」と、教会の姉妹に力づけられて、あまり心配もせず入院。当日からまたいろいろ検査が始まり、手術の2日前に家族の者が呼ばれて、手術についていろいろ細かく説明して下さった。私は麻酔が非常に嫌いだったので、特に力をいれて伺ってしまいました。「皮を切って胸骨を電気ノコでみぞおちの下まで切り、胸骨を広げて心臓を上に取りだし、人工心肺に切り替え、血液の循環を・・・」手術ってそんな風に行われるのかと改めて感心してしまいました。「外科、内科、麻酔その他10人体制で行います。心配しないで下さい。必ず成功しますから」。スポーツセンターの医師から福島さんの手術は簡単な方なのよ、と言われたがこれで簡単なのかしら？手術の前



れんせい会の思い出



石井 拓真

8月2日、僕は御殿場のれんせい会に出席しました。中和田から僕といとこの石井大河と一緒に来ました。

はじめに、オリエンテーションで自己紹介をしました。グループ決めがあり、（4グループ）中3、中1、小5、ほかでした。

夕食後講話がありました。金沢教会の飯野神父さんでした。僕はグループ活動やスポーツをしたため眠くなってしまっていて覚えていません。

ゲームの時友達が出来てとても楽しかった。日記を書いたあとお祈りと歌を歌いました。寝る時は、いとこと僕と友達になった子と3人で寝ました。その時はこうふんして1時ぐらいまで起きていました。

3日目の朝、朝のお祈りをしました。神学生の話のときはプールなどでつかれていたらけどちゃんと聞いてよかった。その話で学んだことは、神学生が神父様になるのがどれだけ大変かを学びました。

4日目はそうじをしてスタンツ準備をしました。そして楽しみにしていたスタンツをやるととても楽しかったです。そして5日目の朝、またそうじをしました。掃除が終わると司教様がミサをあげました。ミサが終わってとうとう帰るときになってしまっていて残念でした。

委員会だより

< 9月5日(日) 10名出席 >

8月29日、臨時総会無事終了。信徒の皆様にご協力頂きありがとうございました。

1. 敬老のお祝いの準備状況の説明（小山委員）

- ◆ 小谷さんから課題提起を頂いて検討、本年は気持ちを表す意味で「御絵+ハンカチ」にしたい ⇒ 委員会了承
- ◆ 最終的に祝い対象者は37名
- ◆ お祝いの会の司会は井上さんをお願い予定。他に撮影（小野）。ハンドマイク準備（甲斐）。
- ◆ 林神父様にもパーティご参加をお願いする。

2. バザーの準備進捗状況の説明（山本委員）

- ◆ 商品券、ビール券の集まりが捗々しくない。
- ◆ 太田さんにポスターなどお願いした。
- ◆ バザー券のデザイン案を配布（小野）⇒ 委員会了承
- ◆ バザー券は1,250枚（1枚200円）を発行。
- ◆ バザー券、金券の販売は、9/19(日)より毎週日曜日に。
- ◆ 武田さんより焼きソーセージ、焼きハム（真空パック）売りたいとの申し出あり。⇒ 委員会了承

3. 教会建物修繕資金に関する特別献金の件

- ◆ 募集内容、ならびに周知方法に関する呼びかけの為にたたき台資料が委員長より配布された。
- ⇒ 各委員が検討して次回委員会に結果を持ち寄る。
- ⇒ 壮年会、婦人会の9月度例会でも上記試案を検討。
- ◆ 10月委員会で詰め、ミサ後に信徒の皆さんに呼びかける。
- ◆ 神父様の居住環境改善に関しても別途並行検討。

4. 新運営規定

- ◆ 新運営規定の対応 ⇒ 広報「なかわだ」に挟みこみの形で全文掲載する（「永久保存版」として）。
- ◆ 委員の改選および任期 ⇒ 各委員に後継者を推薦頂くことを基本にして進めたい（委員長）。
- ◆ 各委員を中心とした運営グループの形成 ⇒ マニュアル化の加速などを軸に考えていく。

5. 各委員からの連絡事項および報告

- ① 典礼委員：典礼研修会の件
 - ◆ 典礼研修会が10月3日(日)磯子教会で行われる。
 - ◆ 教会としては3名派遣。他参加希望者はミサ後案内。

- ② 宣教委員：資料配布の上、下記の報告あり。
 - a. 一粒会報告
 - b. 第5地区福音宣教委員会報告
 - c. 泉区民クリスマス⇒フェリス女学院大学講堂(緑園都市)
 - d. 第13回湘南短期キリスト教セミナー ⇒ 今年は3回通しで1000円(500円/回は扱わない)
- ③ 財務委員：7、8月度会計報告
 - ◆ 福井・新潟災害の募金として38,728円集まった。「愛の献金」より補填して計5万円にして送る。
 - ◆ 一粒会：8月度入金15,700円、累計250,164円。
 - ◆ 盗難保険を継続する。
- ④ 福島委員より放送設備の件報告⇒ 甲斐さんのご協力で無事解決(アンプとスピーカーの不整合が原因)。

お知らせ

- ご結婚** 9月25日
エウジェニオ 清尾 拓哉さん
村瀬 玲子さん
- ご出産** 8月27日 次女(光希ちゃん)誕生
父 石井 伸雄さん
母 奈美江さん
- 幼児洗礼** 9月26日(日) 洗礼
メリー モニカ 石井 光希ちゃん
- 転入 ようこそ** 8月29日 富山教会より
佐藤 さおりさん
住所：泉区西ヶ岡 1-27-2-503
- バザー** 10月31日(日)11時～13時
目的は「地域との交流と教会修繕」です。
みなさんの積極的参加をお願いします。
- 死者のためのミサ** 11月5日(金)10時から
- 七五三のお祝い** 11月14日(日)(予定)